



市長室 広報戦略室 広報課

橋永さん（行政事務）（平成29年度入庁）

Q. どうして福岡市職員になろうと思いましたか？

大学で行政学を履修したときに漠然と地域に密着した仕事がしたいと思い、地方公務員を目指し始めました。

大学進学を機に県外から福岡市に来ましたが、地元の人に愛されているところに魅力を感じ、福岡市で就職することを選びました。

Q. 実際に入庁してみてどう感じましたか？

仕事の幅広さに驚きました。窓口で仕事をしている人、地下鉄の駅に行って仕事をしている人など、同期職員から話を聞く度に面白い業界に入ったなと感じます。

広報に関わっていると市全体のことがざっくり広く見渡せるので、これから自分にどんな仕事ができるのか楽しみになりました。

今回は、橋永さんが担当している“市政だより” Ver. にしてみました。



広報課でこんな仕事をしています

月2回発行している「市政だより」の発行に携わっています。事業やイベントの担当部署から依頼を受けて記事を作ったり、広報課でどんな特集を組むか考えて取材に行ったりします。

水について特集を組んだときは、下水道の担当職員にどんな事業を紹介するのがよいか相談に行ったり、ダムに現地の写真を撮りに行ったりしました。



←水道局の
“フクちゃん”
と取材 @曲淵ダム

今号の主な内容

- どうして福岡市職員になろうと思いましたか？
- 実際に入庁してみてどう感じましたか？
- 広報課でこんな仕事をしています
- 業務の中で一番魅力的な（やりがいのある）ところ
- 仕事を通じて発見したことや感動したこと
- 初めて担当した仕事内容
- 今後担当してみたい業務や部署について
- 働く上で、気をつけている事や、大切にしていること
- 休みの日の過ごし方、仕事以外で熱中していること
- 福岡市職員を目指す人へメッセージ

Q. 業務の中で一番魅力的な（やりがいのある）ところを教えてください。



自分の作ったものが形になって残るところです！

「市政だより」は月2回、約85万部を発行し、市内全世帯に配布されています。私たちの作ったものが市民の皆さんの手元に直接届けられるので、誤りがないように細心の注意を払いながら、いろいろなレイアウトや色使いを試して、より読みやすい紙面づくりに取り組んでいます。

「市政だより」が自宅のポストに入っていると、ようやく一安心できます。(その頃には、もう次号の編集しているのですが…^^;)

お気に入りの 市政だより1面 をご紹介します！ 2019ver.



←2019年8月15日号
ガントリークレーンの写真は、私が博多湾で船の上から撮ったものです♪



←2019年12月1日号
「市役所映え☆」な一枚。
なんと、広報課の職員が偶然スマホで撮った写真なんです。
(合成じゃないですよ！)

Q. 仕事を通じて発見したことや感動したことはどんなことですか？

「市政だより」の編集をする中で、コミュニケーションの大切さを改めて感じました。限られたページの中で作っていくため、庁内で何度も調整を行うので、普段の関係性が良いと話が上手く進むことがあります。コミュニケーションが上手な先輩職員を見習って、他の部署の職員とも積極的に会話をするようにしています。



Q. 初めて担当した仕事内容を教えてください。

入庁1, 2年目は、同じ広報課の中で市のホームページを担当していました。ウェブではそのときに必要な情報を、速く・正しく発信することが求められます。災害時に刻一刻と変化する状況に対応して、スピーディーにページを更新していったのは貴重な経験でした。

初めて自分で作ったページは、今でもひそかに愛着を持っています♪

Q. 今後担当してみたい業務や部署について教えてください。

福岡市の国際関係に興味があります。

観光や経済など、変化していく国際関係の中にある福岡市を支える仕事に携わってみたいです。

Q. 働く上で、気をつけている事や、大切にしていることを教えてください。

周りにアンテナを張ることを意識しています。ニュースや流行など社会全体のことを知っておくのも大切です。職場では周りの人がどんな様子か気を配るようにしています。

特にローカルニュースはよく話題にのぼるので、必ず朝からチェックしています。

Q. 休みの日の過ごし方、仕事以外で熱中していることがあれば教えてください。

2019年のワールドカップからラグビーにはまっています！熊本や大分までワールドカップの試合を見に行ったり、好きなチームのファンクラブに入会して応援に行ったり、“にわかファン”を楽しんでいます。選手にサインをもらったTシャツや、推しの選手とのツーショットは宝物です♡



市内全世帯に配布される市政だよりを月2回も作成する仕事は大変そうじゃ・・・
しかし、橋永さんは、最初の職場で学ぶことが多かったようじゃの。

最後に、これから福岡市職員を目指す人へメッセージのお願いじゃ。



私は福岡市出身でないことを不安に思いながら採用試験を受けたのですが、いざ入庁してみると、市外・県外出身、民間企業経験者などさまざまな背景を持つ職員が自分の強みを発揮して仕事をしていることが分かりました。それぞれの経験を生かして、一緒によりよい福岡市を作っていきましょう！



福岡市について勉強して、広報戦略室のメンバーで福岡検定を受けました▶



職員募集ホームページ

(令和2年3月時点の情報です。)